

掲載開始日：2022年4月1日

研究利用管理番号

2103012

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	さい帯血を用いて造血のメカニズムや血液疾患の発症メカニズムを解明する (臍帯血由来の造血幹細胞による造血および免疫系の再構築能の解析)
研究期間 (西暦)	2021年6月～ 2026年3月
研究機関名	愛媛大学大学院 医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学
研究責任者職氏名	教授 竹中 克斗

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

造血幹細胞は血液細胞を作り出す大元の細胞で、通常は骨の中の血液(骨髄液)に含まれておりますが、出産時のへその緒の中の血液(さい帯血)にも多く存在することが分かっています。私たちは、正常な血液の作られ方や、白血病などの血液疾患の発症のメカニズムについて研究を行っております。本研究では、さい帯血中の造血幹細胞の増殖や様々な血液細胞に変化する機構を調べます。さい帯血を用いた研究により、白血病などの血液疾患に対する新しい治療法の開発に繋がる可能性があります。

2 使用するさい帯血等の種類・情報の項目

さい帯血等の種類：調製保存に至らないさい帯血

さい帯血等の情報：採取日時、液量

3 さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》

さい帯血等のヒト遺伝子解析： 行いません。 行います。

《研究方法》

さい帯血より造血幹細胞や造血前駆細胞を分離し、それぞれの機能を様々な薬品を添加した培養実験や免疫不全のマウスを用いた移植実験などによって検討します。また、造血機能に関わる様々な遺伝子を導入し、造血幹細胞の増殖や分化にどの遺伝子に関わるかを調べます。なお、本研究では、さい帯血提供者の個人を特定できる遺伝子配列、疾患や先天性異常などに関する遺伝子配列の解析は行いません。

5 さい帯血等の使用への同意の撤回または研究使用の停止について

さい帯血は個人情報切り離され、個人が特定できない状態で提供されます。そのため、本研究にさい帯血が提供される前で、日本赤十字社近畿さい帯血バンクにおいて個人が特定ができる状態であれば、同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

日本赤十字社近畿さい帯血バンクへさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究利用の停止を希望される方は当該さい帯血バンクまでご連絡下さい。

電話：06-6962-7056

本研究に関する問い合わせ先

所属	愛媛大学大学院 医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学(第一内科)
担当者	岩本 千佳
電話	089-960-5296
Mail	iwamoto.chika.ah@ehime-u.ac.jp